事務事業評価シート

評価実施年度: 平成28年度

施策Ⅲ-4-5 上位の施策名称 環境保全の推進

1	.事務事業の目的・概要	事務事業担当課長	廃棄物対策課長 伊藤 耕	電話番

Ι.	学切学木ツロツ	1144.55	女名に二条本の中	が大きない	12 134 191	400 B J	0002 22 0110	
	事務事業の名称	公共関与産業廃	整棄物最終処分 場	易確保対策事業				
	(1) 対象	産業廃棄物を排出する県内の事業者						
的	(2) 意図	適正に処理されるように産業廃棄物の処分先を確保する						
事業概要	業 ・公共関与最終処分場経営安定化対策事業 概 同センターの経営安定化を図るため、管理型第1期施設整備に係る金融機関からの借入金の償還金に対して支援を行う。							

2 成果参考指標

2.1/X/S 2.10 l/k								
成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
	指標名 管理型最終処分場の残余年数	目標値		15.0	14.0	13.0	12.0	
,	1日综合 官理至取於処力場の残水中数	取組目標値						年
Ι'	式・ 残余年数	実績値	1.0	1.0				
	定義	達成率	1	_	_	_	-	%
	指標名	目標値						
	18徐春	取組目標値						
~	式•							
	定義	達成率	_	_	_	_	_	%

3 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	933,502	714,514
うち一般財源(千円)	203,502	204,514

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5.評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・平成14年度に供用開始した「クリーンパークいずも」は、県内唯一の公共関与による産業廃棄物処分場であるが、広く県内の製造業・建築業等の事業者に利用される本県産業振興に必須の施設となっている。
- 「クリーンパークいずも」の管理型第2期処分場は平成28年度中には満杯になる見込み。
- ・不法投棄防止、県内産業振興のため、新たな処分場の確保が必須の状況。
 ・そのため、(公財)島根県環境管理センターが実施する既存の安定型処分場を管理型へ転換する第3期整備事業への財政支援を平成26年度から平成28年度までの3カ年間実施。

	Y	
6.成果があっ	たごと	(改善されたこと)

・平成26~27年度の整備は予定どおり実施さ れた

・計画どおり借入金の償還金に対し支援を行っ ている。

7.まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困って<u>いる「状況」</u>

の困って	ンと子できた	発生して	72 LI	西田

| **②困っている状況が先生している「原囚」** |現状では平成28年度中には満杯になるおそれがあり、予定どおり竣工する必要がある。

③原因を解消するための「課題」

計画どおり完成するよう整備の進捗を適切に把握する必要がある。

今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・適正な施設整備、施設運営を確保させるために(公財)島根県環境管理センターに対して、運営・管理等について指導を行う。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

更新日: 2016/12/13 11:33